

月刊「消化器外科」2022年3月号 訂正のお知らせ

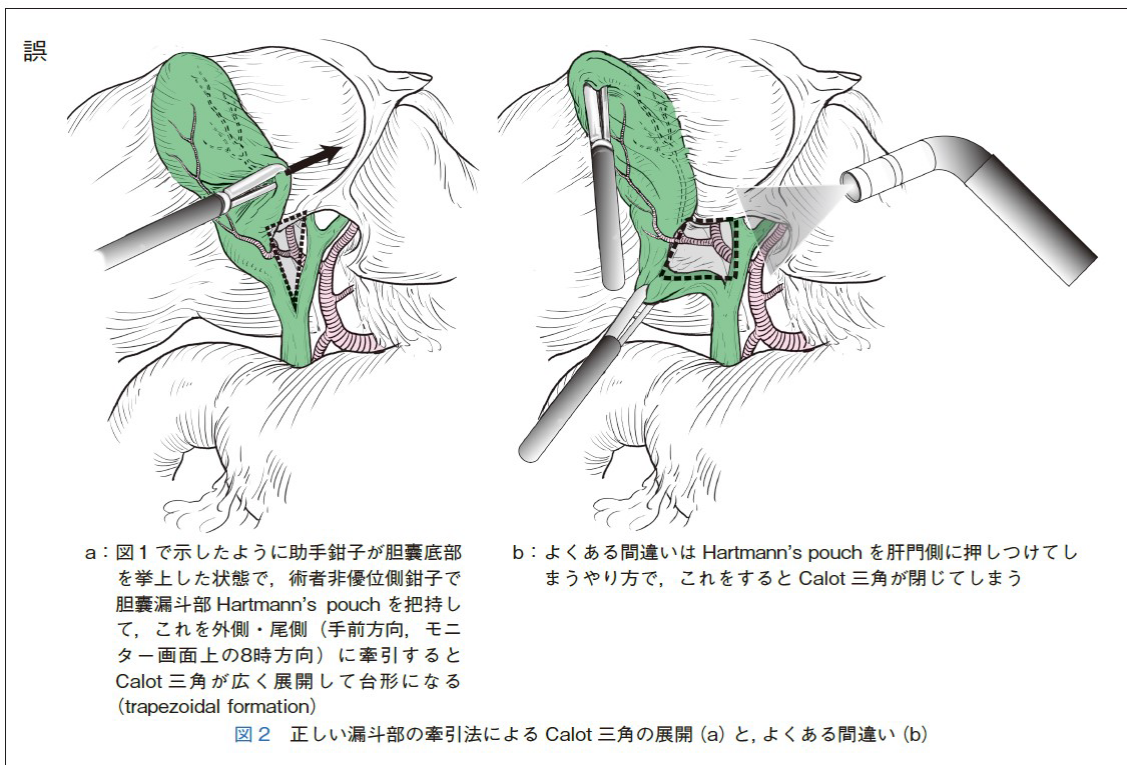
月刊『消化器外科』2022年3月号に掲載した下記論文におきまして、下記の通り誤りがございましたので、お知らせ申し上げます。

読者の皆さまに多大なご迷惑をおかけいたしましたこと、深くお詫び申し上げます。

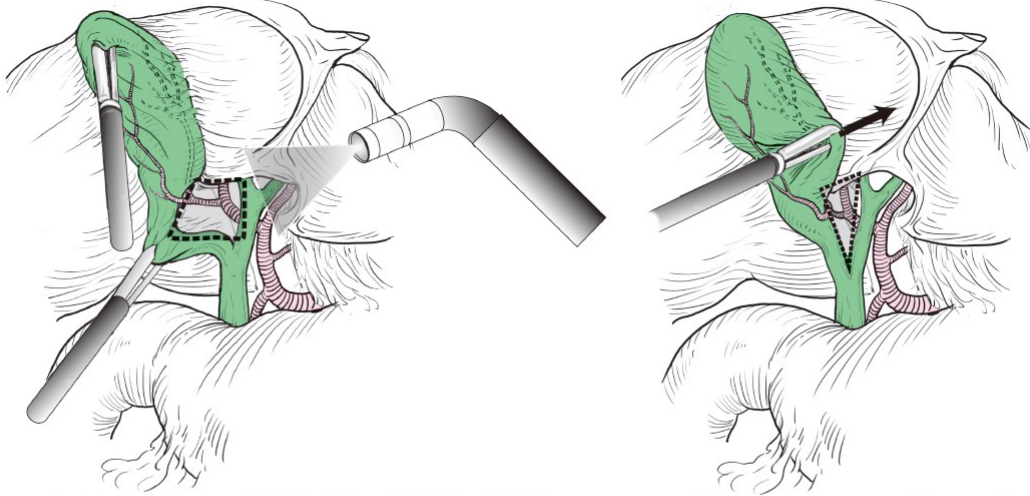
【訂正箇所】

三澤健之，渡邊理，高橋秀樹，近藤里江，肥沼隆司，豊田啓恵，津嘉山博行，澁谷誠，佐野圭二：腹腔鏡下胆嚢摘出術；評価基準の解釈と基本手技，消化器外科，45：332～344.p.470

・図2a・bのイラストが逆



正



a: 図1で示したように助手鉗子が胆嚢底部を挙上した状態で、術者非優位側鉗子で胆嚢漏斗部 Hartmann's pouch を把持して、これを外側・尾側（手前方向，モニター画面上の8時方向）に牽引すると Calot 三角が広く展開して台形になる (trapezoidal formation)

b: よくある間違いは Hartmann's pouch を肝門側に押しつけてしまうやり方で、これをすると Calot 三角が閉じてしまう

図2 正しい漏斗部の牽引法による Calot 三角の展開 (a) と、よくある間違い (b)

(2022年4月6日)